

台東館

産業貿易センター台東館 指定管理者一次評価

大項目	項目	確認項目	評価基準								
			●水準を上回る＝達成度:概ね110%以上 ●水準どおり ●水準を下回る＝達成度:概ね90%以下 ※定性的な指標は、事業目的に合致する効果的な取組を新規で行った場合は、水準を上回る。 適正に実施した場合は、水準どおり。事故・協定違反が発生した場合は、水準を下回る。								
	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項
		施設・設備の保守点検及び修繕 ・定期点検及び保守等(内容・回数等) ・適切な修繕の実施	×1		○		様式6 建物管理業務実績 実地検査	26項目	26項目		・都の実地検査により状況を確認(4月24日)
		施設の清掃(施設の清潔さ)及び警備 ・床清掃(毎日)ほか (項目) ・警備人数(人/月)	×1		○		様式6 建物管理業務実績 実地検査	5項目 105人/月	5項目 112人/月		・都の実地検査により状況を確認(4月24日)
		人員配置(配置数、配置箇所、専門性等) ・事業責任者の配置ほか (名)	×1		○		様式1 事業報告 1(1)	15名	15名		・館長以下15名体制で運営
		人材育成の取組(各研修参加、訓練実施)	×1		○		様式1 事業報告 1(3)①②	研修体系の確立及び関係資格取得支援、多様なノウハウの維持継承	実施		・「事例で学ぶ業務改善研修」の開催(両館合同で17名参加) ・イベント業務管理士2級(所持者は6名に) ・上級救命講習(有資格者は15名)、防災センター要員講習を1名受講
		法人組織としての指定管理業務への関与 ・本社との連携体制の構築 ・戦略会議によるセンターの効用最大化	×1		○		様式1 事業報告 1(4)、2(1)①	産業貿易センター戦略会議の設置、本社からの支援機能の確立、中小企業の販路開拓支援	実施		・公社幹部と産業貿易センター職員が出席する戦略会議を開催(4回) ・本社総務課・企画課との連携により、契約事務の適正化や情報セキュリティを確保 ・契約案件の決定プロセスには本社契約担当も加わり、適切な管理水準を維持 ・公社メールマガジンや機関誌「Tokyo Biz Beat」による広報
		提案事業等の実施 ・施設利用者の準備作業等の調整	×2		○		様式1 事業報告 4(4)	効率的な搬出入のための利用者支援	実施		・円滑な搬出入・装飾作業に向けた、搬入物形状等のガイドラインを含む「利用の手引き」配布 ・搬出入調整会議による混雑緩和 ・荷物用エレベーターの混雑時は、主催者負担の軽減、事故防止を図るため、職員による備品の搬出代行を実施
		利用受付・利用者調整の取組	×1		○		様式1 事業報告 4(1)(3)②	利用受付、手続きの公平性・透明性の確保	実施		・定期順位別申込制度による、都内中小企業・団体の申し込みを優先受付 ・新規利用者にも分かりやすい、利用方法等の説明動画をHPに掲載 ・利用方法、利用規則、各種届出、設備案内等を丁寧に実施
		他機関等との連携 ・区民会館との連携による利便性の向上	×1		○		様式1 事業報告 2(2)④	台東区民会館と浜松町館との連携による利便性向上	実施		・利用者の要望を聞き、利用形態や規模間等に応じ台東区民会館利用を提案 ・台東館施設設備では開催が難しい催事は浜松町館を紹介 ・浜松町館の予約が取れない利用者の受入

管理 状 況		地域や地元住民との良好な関係の構築	× 1	○			様式1 事業報告 5(3)	地元自治体との連携、地域や地元住民への取組	実施		・浅草商店連合会発行の地元PR誌の設置、浅草観光連盟によるポスターの館内掲載を実施 ・台東区内の町おこしイベントである「モノマチ」「東京レザーコネクト」の開催に協力を行い運営に寄与 ・商工会議所台東支部、浅草観光連盟、台東区と協力体制を構築し、イベント開催協力と定期的な情報交換を実施 ・地元警察署等が実施する交通安全イベント等への協力を実施 ・大河ドラマ館(「べらぼう～鳶重栄華乃夢嘶～」)が台東区民会館でオープン。台東区と多数の調整・協力を行うことで、利用者の利便性確保に尽力(令和8年1月閉館)
	＜評価理由＞ 法人本社による組織的な支援を背景に、適切な人員配置・育成による安定的な施設運営・管理を行っており、また、地元・地域住民とも良好な関係を築いている。						＜備考＞				
法令等 の 遵 守		個人情報保護、報告等は適切に行われているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		個人情報保護、情報公開の取組 及び利用記録等各種情報の管理 ・情報の適正管理等	× 1		○		様式1 事業報告 4(3)① 実地検査	法令遵守及び手続 の公平性・透明性	実施		・全職員が個人情報保護研修を受講 ・要保護情報については施錠管理を徹底 ・個人情報保護方針をHPIに掲載し、利用者へ周知
		環境配慮への取組	× 1		○		様式1 事業報告 4(7)③	環境保全への配慮	実施		・展示室照明のLED化 ・空調機用制御装置等による適切な温度調整 ・ペーパーレス化による紙使用量抑制
		手続のデジタル化	× 2	○			様式1 事業報告 4(3)①	手続のデジタル化	実施		・プロジェクトチームによるデジタル化箇所の洗い出し、基幹システムの機能付加・クラウド化 ・マイページ担当者を2名配置し、マイページからの利用申請を促進 ・利用者アンケートのWebフォームへの完全移行等に伴い、回答率が向上
		各種法令の遵守及び都への報告・連絡	× 1		○		様式1 事業報告 4(3)① 実地検査等	法令遵守及び手続 の公平性・透明性	実施		・コンプライアンス・マニュアル等の規定類の適宜改訂及び悉皆研修を実施 ・コンプライアンスに係る自己検査の実施
	＜評価理由＞ 省エネ等の環境対策に配慮し、手続のデジタル化など積極的に取り組んでいる。						＜備考＞				
安全 性 の 確 保		施設の安全性は確保されているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		防災、防犯への配慮及び緊急時対策 ・自主防災組織の設置と定期訓練 ・防災マニュアルの改訂と周知 ・一時滞在施設の運営計画の更新 ・警備体制の確保・避難誘導の体制づくり	× 1	○			様式1 事業報告 5(2)	事故防止対策及び 初動対応、被災時の 安全対策	実施		・館内管理権限者との「共同防火防災管理協議会」を開催、防火 防災体制の見直しを実施 ・台東区主催の「浅草地区観光客対応の一時帰宅困難者対策 避難誘導訓練」に参加。外国人観光客を想定した避難受入訓練 を実施 ・浜松町館で実施の一時帰宅困難者受入に係る全館訓練への 参加
		施設・設備管理に関する書類等の管理 ・業務報告(警備、清掃、設備)の作成	× 1		○		実地検査等	—	適正に実施		・都の実地検査により状況を確認(4月24日)
	＜評価理由＞ 施設設備の安全性を確保し、防災対策も適切に実施している。						＜備考＞				

財務・財産の状況	適切な財務運営・財産管理が行われているか									
	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
	×2		○		様式1 事業報告 3(1)②③ 様式2 事業収支 様式3 経営状況分析指標	・利用料金収入 290,384千円	・利用料金収入 303,053千円	104.4%	・利用料金収入は達成率104.4% ・会場検索サイト2媒体へ掲載 ・関係機関、金融機関、自治体やイベント会社、装飾会社等への営業を実施 ・利用者分析による新規利用企業56団体の確保	
	×1		○		実地検査	—	適正に実施		・都の実地検査により状況を確認(4月24日)	
	×1		○		様式12 物品整理簿 様式13 購入物品整理簿 実地検査	—	適正に実施		・都の実地検査により状況を確認(4月24日)	
<評価理由> 利用者誘致の取り組みを積極的に実施し、利用料金収入は達成率104.4%。					<備考>					

利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか									
	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
	×2		○		様式1 事業報告 3(1)① 様式8 利用実績	1日(9-21時) 51.6% 【参考】 日中(9-17時) 60.0%	1日(9-21時) 46.9% 【参考】 日中(9-17時) 62.7%	1日 90.9% 【参考】 日中 104.5%	・達成率90.9%(9-21時)、104.5%(9-17時)	
	×1			○	様式1 事業報告 3(1)① 様式8 利用実績	1日(9-21時) 152.4日 【参考】 日中(9-17時) 198.0日	1日(9-21時) 136.7日 【参考】 日中(9-17時) 167.0日	1日 89.7% 【参考】 日中 84.3%	・達成率89.7%(9-21時)、84.3%(9-17時)	
	×2		○		様式1 事業報告 4(1) 様式9 展示室受付順位別 利用実績	60.0%	62.8%	104.7%	・全催事の62.8%が中小企業主催	
	×2	○			様式1 事業報告 2(1)①③	新規展示会等の誘致強化、施設の利用案内ツールの充実	実施		・中小企業組合に対して台東館の周知を実施 ・新宿西口動画サイネージ及び4号街路サイネージに広告を掲載 ・新チラシを制作し、新規利用見込先等にDMを376件発送 ・プレミアムインセンティブショーや組合祭り等のイベントに参加し台東館をPR ・織研新聞への記事・広告の掲載 ・月間「Bungu to Jimuki」に広告を掲載	
<評価理由> 展示室の稼働率は達成度90.9%、会議室の利用状況は達成度89.7%であるが、ともに前年度より稼働率は向上。中小企業利用率は目標達成。					<備考>					

事業 効果	サービス 内容の 向上	事業内容、職員対応等について、利用者の反応はどうか									
			配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項
		事業の企画、実施、成果 ・自主事業の実施(展示・商談会等) ・都の他施策との連動性、協調性等	×2		○		様式1 事業報告 2(3)①	自主企画催事の開催	実施		・「東京くらしのフェスティバル2025」の開催(都内中小企業53社出展)、1060名が来館。専門家の監修のもと、出展者向け勉強会や商談会スペース等を設置し、実契約に繋げる仕組みを構築
		利用者サービスに資する自主事業の取組 ・備品類の充実 ・その他サービス等の事業実施	×1		○		様式1 事業報告 2(3)③	備品貸出サービス等の提供	実施		・展示規模別の利用例や過去の使用実績によるアドバイス、不足備品の業者紹介等 ・ビジネスラウンジでの無料Wi-fiサービス提供 ・無料貸出の衝立等を各階に設置し利便性向上
		特色のある事業の実施 ・利用者へのサポート、展示商談会のコーディネート等	×2	○			様式1 事業報告 2(2)③	展示会や会議等のトータルサポートの強化	実施		・催事準備、搬出入、会場配置へのアドバイス強化 ・混雑時の荷物用エレベーター誘導作業への補助 ・イベントサポート業者(設営、清掃、ケータリング等)の紹介 ・デジタルサイネージによる展示会PR ・マイページ(展示会準備サポート)の利用促進 ・一般公開型の催事については、催事案内(チラシ)を1階ロビーに設置し、集客増を促進
		サービス向上に向けた取組 ・利用者ニーズの把握(方法、回収率、回収率向上の取組) ・サービス向上の検討及び情報共有体制 ・搬出入効率化の推進	×2		○		様式1 事業報告 2(2)、2(3)③、4(4)(6)	利用者要望を的確に把握、要望等をサービスに活かす取組	実施		・WEBフォームによるアンケートに完全移行し、回収率63.0%(昨年度55.0%)と改善 ・利用者(中小企業等)のマンパワー不足に対し台東館職員が適宜サポート ・搬出入調整会議による混雑緩和 ・荷物用エレベーターの混雑時は、主催者負担の軽減、事故防止を図るため、職員による備品の搬出代行を実施 ・運営担当者全員参加のCS会議を毎月開催。課題に対処
		利用者の満足度(利用者アンケート)	×2	○			様式4 利用者アンケート結果	アンケートの実施	大変満足・満足・どちらかと言えば満足計96.7%		・配布335件、回収211件、回収率63.0%(WEBフォームに完全移行し、未回答者へのメール等での回答促しにより回収率が向上)
		質の高いサービス提供のための提案 ・バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮 ・多言語対応の推進	×2	○			様式1 事業報告 4(7)④	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮等	実施		・利用案内・ウェブサイトにはバリアフリー情報掲載 ・車いす貸出、身障者用臨時駐車スペースの案内 ・車いす利用者用トイレ(オストメイト対応設備)運用 ・ウェブサイトが多言語化ページ提供(英語、中国語簡体字、韓国語) ・視覚障害者向け音声ガイド地図サービス(英語対応) ・帰宅困難者対応時用に英語・中国語の案内を準備 ・聴覚障害者向けに難聴障害者用システム(公社支援商品)の放送設備配備、筆談ボード設置、「手話サービス」利用QRコード掲示。ユニバーサルコミュニケーション機器を新たに導入 ・外国人来場者のためのAI翻訳機を導入 ・エレベータに障害者等の優先利用のポスター貼付
		施設ホームページの更新	×1		○		様式1 事業報告 2(2)②	—	実施		・迅速に必要な情報にアクセス可能な設計を継続。年間アクセス件数は865,695件と対昨年度比105.8%の増加
		苦情等への対応 ・現場指導、調整及び注意喚起の実施	×1		○		様式1 事業報告 4(5) 様式5 事故・故障対応一覧	苦情等に対する対応	実施		・利用者(展示会等主催者)、来場者、近隣住民の苦情に適切対応 ・朝礼やシステム掲示板で迅速に情報共有 ・外部研修機関による「業務改善研修」の実施
		<評価理由> 利用者満足度が96.7%と利用者から高い評価を得ており、また、利用者サービスの向上にも積極的に取り組んでいる。					<備考>				

		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	計
合計点	52点	配点×1	2点×2項目	1点×16項目	0点×1項目	20点
		配点×2	4点×5項目	2点×6項目	0点×1項目	32点
		計	24点	28点	0点	52点
一次評価結果	得点52点	標準点 19項目×1点 11項目×2点	S	A	B	C
	A	41点	55点以上	54点以下 52点以上	51点以下 37点以上	36点以下

特記事項	(特に評価すべき点) ・収支状況について、利用料金収入は計画値に対し達成率104.4% ・積極的な広報等による利用促進への取り組みを継続、利用料金収入・稼働率とも前年度より向上 ・地域団体との協力体制の構築。令和7年2月オープンの台東区「大河ドラマ館」への協力 ・プロジェクトチームによるデジタル化箇所の洗い出し、基幹システムの機能付加・クラウド化 ・浜松町館で実施の一時帰宅困難者受入に係る全館訓練への参加。台東区主催の外国人観光客を想定した避難受入訓練の実施 ・組合祭り等のイベント参加によるPRや、織研新聞等の媒体への広告掲載により、新規催事の誘致強化 ・催事準備、搬出入、会場配置に係るアドバイス強化や、一般公開型催事に係る1階ロビーでのチラシ配架による集客増に向けた取組の開始 ・ユニバーサルコミュニケーション機器を新たに導入するなどバリアフリー対応の充実 ・利用者要望に適切に対応。利用者満足度96.7%
------	---

大項目	項目	確認項目	評価基準								
			●水準を上回る＝達成度：概ね110%以上 ●水準どおり ●水準を下回る＝達成度：概ね90%以下					※定性的な指標は、事業目的に合致する効果的な取組を新規で行った場合は、水準を上回る。 適正に実施した場合は、水準どおり。事故・協定違反が発生した場合は、水準を下回る。			
	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項
		施設・設備の保守点検及び修繕 ・定期点検及び保守等(内容・回数等) ・適切な修繕の実施	×1		○		様式6 建物管理業務実績 実地検査	16項目	16項目		・都の実地検査により状況を確認(4月24日)
		施設の清掃(施設の清潔さ)及び警備 ・床清掃(毎日)ほか ・警備人数	×1		○		様式6 建物管理業務実績 実地検査	5項目	5項目		・都の実地検査により状況を確認(4月24日)
		人員配置(配置数、配置箇所、専門性等) ・事業責任者の配置ほか (名)	×1		○		様式1 事業報告 1(1)	14名	14名		・館長以下14名体制 ・館長の下に各グループに課長代理を置き全職員を一元的に指揮
		人材育成の取組(各研修参加、訓練実施)	×1		○		様式1 事業報告 1(2)①	研修体系の確立及び関係資格取得支援、多様なノウハウの維持継承	実施		・「事例で学ぶ業務改善研修」の開催(両館合同で17名参加) ・衛生推進者養成講習(1名修了) ・上級救命救急講習(3名) ・イベント業務管理士2級認定試験(3名)
		法人組織としての指定管理業務への関与 ・本社との連携体制の構築 ・戦略会議によるセンターの効用最大化	×1		○		様式1 事業報告 1(4)	産業貿易センター戦略会議の設置、本社からの支援機能の確立	実施		・各課の利用促進、都内事業協同組合などに誘致営業 ・公社幹部と産業貿易センター職員が出席する戦略会議開催(4回) ・公社助成課等と連携し助成金採択事業者への利用促進を実施 ・職員欠員時に両館で協力する体制を構築 ・両館で協力して広報・営業を行い、各々が両館のPRを実施
		提案事業等の実施 ・施設利用者の準備作業等の調整	×2		○		様式1 事業報告 4(1)②	利用者間の調整	実施		・「利用の手引き」配布の継続 ・「搬出入調整表」に基づき「入車証」を発行し、安全かつ効率的な荷捌場の運営を実施 ・「荷物用エレベーター調整表」による混雑の防止・緩和
		利用受付・利用者調整の取組	×1		○		様式1 事業報告 4(1)①	利用受付及び利用料金收受の方法	実施		・定期順位別申込制度による、都内中小企業・団体の申し込みを優先受付 ・利用希望日程を第3希望まで聴取し、台東館との連携により取りこぼし回避 ・会議室の当日備品追加利用に当たり、キャッシュレス決済に対応
		民間複合施設との連携 ・民間複合施設との連携による利便性の向上	×1		○		様式1 事業報告 2(4)①	その他の取組事項	実施		・竹芝エリアマネジメントと連携し、歩行者デッキサイネージにおける有料広告掲載サービスを開始し、展示会主催者の催事PRニーズに対応

管理状況		地域や地元住民との良好な関係の構築	× 1			○		様式1 事業報告 5(4)	地域や地元住民への取組、地元自治体との連携	実施		・「竹芝新八景見学ツアー」を開催 ・「竹芝打ち水大作戦2025」に参加 ・港区産業振興センターとチラシの相互配架 ・DMO芝東京ベイの勉強会に参加、MICE招聘に向けた地域の取り組みに協力	
		＜評価理由＞ 法人本社による組織的な支援を背景に、適切な人員配置・育成による安定的な施設運営・管理を行っている。						＜備考＞					
	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか											
			個人情報保護、情報公開の取組及び利用記録等各種情報の管理 ・情報の適正管理等	× 1			○		様式1 事業報告 5(1)① 実地検査	法令遵守及び手続の公平性・透明性	実施		・「公社情報セキュリティ10のルール」を徹底 ・メール送信におけるダブルチェックの徹底 ・個人情報保護方針をHPに掲載し、利用者へ周知
			環境配慮への取組	× 1			○		様式1 事業報告 5(4)、2(4)②	環境保全への配慮	実施		・東京都環境公社の3Rアドバイザー派遣事業を利用した職員の環境意識向上 ・環境をテーマとした経営力向上のためのセミナー（「サステナはビジネスチャンス？ 共創から生まれる新しい価値」）とともにワークショップを開催
			手続のデジタル化	× 2		○			様式1 事業報告 2(2)②	手続のデジタル化	実施		・基幹システムのクラウド化や機能改修により、申請や利用承認、会議室の開扉証（QRコード）の発行等がオンラインで可能に。令和8年8月1日から運用開始。
			各種法令の遵守及び都への報告・連絡	× 1			○		様式1 事業報告 5(1)①	法令遵守及び手続の公平性・透明性	実施		・コンプライアンス・マニュアル等の規程類の適宜改訂及び悉皆研修を実施 ・コンプライアンスに係る自己検査の実施
			＜評価理由＞ 3Rの徹底及び意識改革など環境対策への取り組みを継続するとともに、手続のデジタル化にも積極的に取り組んでいる。						＜備考＞				
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか											
			防災、防犯への配慮及び緊急時対策 ・自主防災組織の設置と定期訓練 ・防災マニュアルの改訂と周知 ・一時滞在施設の運営計画の更新 ・警備体制の確保・避難誘導の体制づくり	× 1		○			様式1 事業報告 5(2)(3)	事故防止対策及び初動対応、被災時の安全対策	実施		・「一時帰宅困難者対応マニュアル」による受入訓練の実施（本社・台東館職員も参加） ・防災担当者会議等により、消防（芝消防署）、警察（愛宕警察署）と連携 ・自衛消防審査会参加や消防訓練等の活動が評価され、令和7年防災のつどいにて、昨年度から引き続き芝消防署から功労者として表彰
		施設・設備管理に関する書類等の管理 ・業務報告（警備、清掃、設備）の作成	× 1			○		実地検査	—	適正に実施		・都の実地検査により状況を確認（4月24日）	
		＜評価理由＞ 施設設備の安全性を確保し、防災対策も適切に実施している。						＜備考＞					

財務・財産の状況	適切な財務運営・財産管理が行われているか												
	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項				
	×2	○			様式1 事業報告 3(1) 様式2 事業収支 様式3 経営状況分析指標	・利用料金収入 538,991千円	・利用料金収入 612,433千円	113.6%	・利用料金収入は目標達成 ・メール管理のクラウドサービス導入による業務効率化 ・フレキシブルなシフト体制による超勤削減、人件費抑制				
	×1		○		実地検査	—	適正に実施		・都の実地検査により状況を確認(4月24日)				
	×1		○		様式12 物品整理簿 様式13 購入物品整理簿 実地検査	—	適正に実施		・都の実地検査により状況を確認(4月24日)				
<評価理由> 利用料金収入は達成率113.6%であり、目標を上回る実績である。					<備考>								
利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか												
	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項				
	×2	○			様式1 事業報告 3(1) 様式8 利用実績	1日(9-21時) 59.0%	1日(9-21時) 70.0%	118.6%	・目標達成、前年度実績より向上 ・WEBリスティング広告、関係機関・金融機関・イベント会社等への営業により新規利用率は2割強 ・就職説明会など、比較的準備期間が短い利用者への空室利用促進				
	×1		○		様式1 事業報告 3(1) 様式8 利用実績	1日(9-21時) 229.8日	1日(9-21時) 237.1日	103.2%	・同上				
	×2	○			様式1 4(1)① 様式9 展示室受付順位別利用実績	55.0%	61.5%	111.8%	・全催事の61.5%が中小企業主催				
利用促進への取組 ・新規利用及びリピータの獲得					×2	○			様式1 事業報告 2(3)	利用者の利便性向上のための取組	実施		・イベント会社、装飾会社への営業活動強化 ・港区内事業者1,000社へのDM送付 ・就職説明会など、比較的準備期間が短い利用者への空室利用促進
<評価理由> 展示室の稼働率は、達成度118.6%、会議室の利用状況は達成度103.2%と、目標を上回る実績である。					<備考>								
	事業内容、職員対応等について、利用者の反応はどうか												
	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項				
事業の企画、実施、成果 ・自主事業の実施(展示・商談会等) ・都の他施策との連動性、協調性等					×2		○		様式1 2(1)、2(3)②	新たな利用の形での掘り起こしの実施	実施		・中小企業のハイブリッド展示会や動画配信ニーズに対応し、オンライン映像配信機器の貸出サービスを実施 ・公社取引振興課と連携し、新規取引先開拓に係る商談会を開催(2回) ・海外展開に課題を持つ中小企業に対する支援施策やグローバル組織人材支援デスク等を紹介

事業効果	サービス内容の向上		利用者サービスに資する自主事業の取組 ・備品類の充実 ・その他サービス等の事業実施	×1		○		様式1 事業報告 2(2)①	備品貸出サービス等の提供	実施		・オンライン映像配信機器貸出サービスの実施 ・R5年度に3階ホワイエに設置した個室型テレワークブースが好評であり、1台増設 ・R5年度に導入した高速インターネット専用回線サービス、高精度プロジェクターの活用
			特色ある事業の実施 ・利用者へのサポート、展示商談会のコーディネート等	×2		○		様式1 事業報告 2(1)①②	イベント開催・出展のサポート	実施		・「出展者用マニュアル」等を活用したイベント業務管理士によるアドバイス ・オンライン映像配信機器の貸出に伴う機器操作のサポート
			サービス向上に向けた取組 ・利用者ニーズの把握（方法、回収率、回収率向上の取組） ・サービス向上の検討及び情報共有体制 ・搬出入効率化の推進	×2		○		様式1 4(2)①②、(3)①	利用者要望を的確に把握、要望等をサービス向上に活かす取組	実施		・R6年度に取得した品質マネジメントの国際規格(ISO9001)認証に基づいた業務の品質管理の実施 ・台東館と共通のQRコードによる来場者アンケートを継続実施 ・CS会議を毎月開催し、課題に対処
			利用者の満足度(利用者アンケート)	×2	○			様式4 利用者アンケート結果	アンケートの実施	大変満足・満足・どちらかと言えば満足計97.8%		・配布512件 ・回収284件(回収率55.4%)
			質の高いサービス提供のための提案 ・バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮 ・多言語対応の推進	×2		○		様式1 事業報告 2(2)	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮等	実施		・R5年度に導入した多言語音声翻訳機器(ポケットーク)の活用。利用者貸出だけでなく、外国人に対する窓口対応にも活用 ・R5年度に設置した3階メインエントランスの案内看板により、館内動線に係る質問はほぼ皆減
			施設ホームページの更新	×1		○		様式1 事業報告 2(2)②	—	実施		・基幹システムのクラウド化や機能改修を実施。令和8年8月1日から運用開始。
			苦情等への対応 ・現場指導、調整及び注意喚起の実施	×1		○		様式1 事業報告 4(2)①② 様式5 事故・故障対応一覧	苦情等に対する対応	実施		・CS会議(毎月)において苦情・要望について議論し、課題に対処(備品清掃の追加実施、荷捌場スタンドプレートの変更など) ・ISO9001認証に基づいた業務の品質管理の実施
		＜評価理由＞ 利用者満足度が97.8%と利用者から高い評価を得ていることや、新たな設備や備品の導入・活用による利用者サービスの向上に取り組んでいる。						＜備考＞				

合計点		54点	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	計
			配点×1	2点×1項目	1点×18項目	0点×0項目	20点
			配点×2	4点×6項目	2点×5項目	0点×0項目	34点
			計	26点	28点	0点	54点
一次評価結果	得点54点	標準点 19項目×1点 11項目×2点	S	A	B	C	
	A	41点	55点以上	54点以下 52点以上	51点以下 37点以上	36点以下	

特記事項	(特に評価すべき点)
	・収支状況について、利用料金収入は、計画値に対し達成率113.6% ・稼働率は、計画値に対し、展示室は達成率118.6%、会議室は達成率103.2% ・中小企業利用率は、計画値に対し達成率111.8% ・プロジェクトチームによるデジタル化箇所の洗い出し、基幹システムの機能付加・クラウド化 ・一時帰宅困難者受入等の全館訓練実施。芝消防署より功労者として表彰 ・イベント会社、装飾会社への営業活動強化。港区内事業者1,000社へのDM送付 ・利用者要望に適切に対応。利用者満足度97.8%

多摩産業交流センター 指定管理者一次評価

大項目	項目	確認項目	評価基準								
			●水準を上回る＝達成度:概ね110%以上 ●水準どおり ●水準を下回る＝達成度:概ね90%以下					※定性的な指標は、事業目的に合致する効果的な取組を新規で行った場合は、水準を上回る。 適正に実施した場合は、水準どおり。事故・協定違反が発生した場合は、水準を下回る。			
	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか									
			配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項
		施設・設備の保守点検及び修繕 ・定期点検及び保守等(内容・回数等) ・適切な修繕の実施	×1		○		様式6 建物管理業務実績 実地検査	—	実施		・都の実地検査により実施状況を確認(4月22日)
		施設の清掃(施設の清潔さ)及び警備 ・床清掃(毎日)ほか (項目) ・警備人数(人/月)	×1		○		様式6 建物管理業務実績 実地検査	—	実施		・都の実地検査により実施状況を確認(4月22日)
		人員配置(配置数、配置箇所、専門性等) ・事業責任者の配置ほか	×1		○		様式1 事業報告 1(1)	14名	13名		・センター長以下13名体制 ※ KSS:施設保全管理業務 18名
		人材育成の取組(各研修参加、訓練実施)	×1		○		様式1 事業報告 1(2)	基礎研修及び技術 研修の実施(年6～7回)	休場日に全6回の 研修を実施		・実務に必要な知識を優先した研修を実施
		組織としての指定管理業務への関与 ・本社との連携体制の構築 ・JV内の連携体制の構築による効用最大化	×1		○		様式1 事業報告 1(4)	本社と連携、JV内 の連携体制の構築 による効用最大化	実施		・JCS株本社(MICE推進部、財務経理部、法務部、広報部等)が必要 に応じてバックアップ並びにチェック
		提案事業等の実施	×2		○		様式1 事業報告 2(3)①	音響機材等の備品 の充実	実施		・展示室サブスピーカーの更新及びハイブリッド電源の導入
		利用受付・利用者調整の取組	×1		○		様式1 事業報告 4(1)①	定期優先受付・随 時受付	実施		・20件の定期順位受付
		地域や地元住民との良好な関係の構築	×1		○		様式1 事業報告 5(4)	地域貢献活動、地 元住民・団体との良 好な関係	実施		・地域住民向け自主企画催事の開催 ・周辺施設(えきまえテラス等)、町会・商店会との連携 ・路上駐車、路上喫煙等に対する注意喚起
		＜評価理由＞ 本社との連携、地域住民への配慮など、適切に管理運営を行っている。					＜備考＞				

管理 状 況	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		× 1		○		実地検査等	適正管理	実施		・都の実地検査により実施状況を確認(4月22日)	
		× 1		○		様式1 事業報告 3(1)③	環境保全への配慮	実施		・空調スケジュールによる細かなON・OFF設定 ・入居機関退去確認後の空調機切り忘れ確認 ・これまでの運転実績を活用した運転スケジュールの調整等によるエネルギーコストの削減	
		× 2		○		様式1 事業報告 4(1)①	キャッシュレス決済手段の導入	実施		・後納料金におけるキャッシュレス決済導入	
		× 1		○		実地検査等	迅速に対応	実施		・都の実地検査により実施状況を確認(4月22日)	
	<評価理由> 環境への配慮や法令遵守など、必要な責務を適切に履行している。					<備考>					
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		× 1		○		様式1 事業報告 5(2)(3)	自主防災組織の設置・訓練、防災マニュアルの確認、確実な避難誘導の体制づくり	実施		・防災関連マニュアル・ハザードマップの確認 ・消防訓練実施(2回) ・消防計画の改定及び避難誘導等に係る各入居期間の体制確認 ・一時滞在施設に係る情報連携訓練への参加 ・閉館後の警備巡回	
		× 1		○		実地検査等	—	適正に実施		・都の実地検査により実施状況を確認(4月22日)	
	<評価理由> 施設設備の安全性の確保や防災対策など適切に実施している。					<備考>					
	財務・財産の状況	適切な財務運営・財産管理が行われているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		× 2	○			様式1 事業報告 3(1)(2) 様式2 事業収支 様式3 経営状況分析指標	・利用料金収入 125,064千円	・利用料金収入 190,328千円	152.2%	・知名度の向上とともに施設利用が増加	
		× 1		○		実地検査	—	適正に実施		・都の実地検査により実施状況を確認(4月22日)	
		× 1		○		様式12,13 物品整理簿 実地検査	—	適正に実施		・都の実地検査により実施状況を確認(4月22日)	
	<評価理由> 利用料金収入は達成率152.2%であり、目標を大きく上回る実績である。					<備考>					

利用 の 状 況	事業計画どおりの利用状況となっているか	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		展示室の利用状況(稼働率)	×2	○			様式1 事業報告 3(1)① 様式8 利用実績	40.0%	58.8%	147.0%	・目標を大きく上回る実績
		会議室の利用状況(稼働率)	×2	○			様式1 事業報告 3(1)① 様式8 利用実績	40.0%	66.0%	165.0%	・目標を大きく上回る実績
		施設設置目的の実施状況 (中小企業利用率等)	×2		○		様式9 展示室受付順位別 利用実績	22.7%	23.5%	103.5%	・令和6年度の17.7%より向上
		利用促進への取組 ・新規利用及びリピータの獲得	×2		○		様式1 事業報告 2(4)	地元自治体と連携 した内覧会・相談会 開催 展示会への出展	実施		・「IME2026」に出展し、地元自治体と連携の上、医学会・国際会議等の誘致活動を実施 ・地元金融機関等と連携し、中小企業の会合への出席等を通じた、中小企業に対する積極的なアプローチを実施
		<評価理由> 展示室の稼働率は達成度147.0%、会議室の利用状況は達成度165.0%と、目標を大きく上回る実績である。									
事業 効 果	事業内容、職員対応等について、利用者の反応はどうか	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		事業の企画、実施、成果 ・自主事業の実施(展示・商談会等) ・都の他施策との連動性、協調性等	×2		○		様式1 事業報告 2(3)②	自主企画催事実施	GW中のイベント等の 実施		・「たま未来クラフトビールフェス」及び「つくるんフェスタ」をGWに開催
		利用者サービスに資する自主事業の取組 ・備品類の充実 ・その他サービス等の事業実施	×1		○		様式1 事業報告 2(3)①	備品貸出サービス 等の企画・準備	実施		・サブスピーカーを大出力のものに換装 ・ポータブル電源の導入
		特色ある事業の実施 ・利用者へのサポート、展示商談会のコー ディネート等	×1		○		様式1 事業報告 2(2)	ホワイエ等の有効 活用 情報発信の強化	実施		・3階ホワイエに産官学民連携事業を紹介する展示スペースを設置 (通年実施) ・展示室ホワイエへのデジタルサイネージの設置、外構部のポスター ボックスの一部デジタルサイネージ化により、催事情報のPRを強化
		サービス向上に向けた取組 ・利用者ニーズの把握 (方法、回収率、回収率向上の取組) ・サービス向上の検討及び情報共有体制	×2	○			様式1 事業報告 4(1)(2)	利用者調整 アンケートによるCS 向上	実施		・コーディネーターによる適切な搬出入スケジュールの調整 ・QRコードによるアンケート実施 ・アンケート結果に基づくCS向上策の実施(警備スタッフへの接遇研 修等))
		利用者の満足度(利用者アンケート)	×2	○			様式4 利用者アンケート結 果	アンケートの実施	大変満足・満足・どち らかといえば満足 計 100%		・回答数106件(令和6年度は113件) ・総合的な満足度で、大変満足・満足・どちらかといえば満足の割合 が100%(令和6年度は98.2%)
		中小企業者、研究機関、大学等及び行政機 関の協働による産業振興を目的とした研究 及び事業の支援	×1	○			様式1 事業報告 2(1)①	産学・産産連携強 化及び関連事業の 実施	実施		・学術機関の出展を中心とした「たま未来連携Expo2025」を開催し、 首都圏産業活性化協会・多摩信用金庫・西武信用金庫等の協力を 得ながら、中小企業を中心とした集客に尽力 ・阿佐ヶ谷美術学校、工学院大学との連携による作品展示を実施 ・「たまサポーター制度」を開始し、「Tama Cross Hub」のサイト開設。 多摩地域の産学官連携に係る情報発信を開始
		サービス内容の 向上									

			広域的な産業交流を促進する事業の支援	× 1	○			様式1 事業報告 2(1)②	広域連携のために各機関との関係強化及び関連事業の実施	実施		・山梨、神奈川、埼玉の国立大学へアプローチし、「たま未来連携Expo2025」への出展を実現 ・さがまちコンソーシアム、かながわ産学公連携推進協議会や山梨・埼玉の商工会との協力関係を構築
			質の高いサービス提供のための提案 ・バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮 ・多言語対応の推進	× 1		○		実地検査等	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮、多言語対応の推進	実施		・英語版パンフレットの作成 ・最新のピクトグラムを反映したフロアガイドの作成
			施設ホームページの更新	× 1		○		様式1 事業報告 2(2)	—	実施		・ウェブサイトのアクセシビリティ対応を実施し、様々な利用者層の利便性向上
			苦情等への対応 ・現場指導、調整及び注意喚起の実施	× 1		○		様式1 事業報告 4(2)① 様式5 事故・故障対応一覧	苦情等に対する対応	実施		・JV内の連携、東京都への報告を実施
			＜評価理由＞ 利用者満足度が100%と利用者から高い評価を受けている。広域的産業連携・中小企業振興関連の事業にも積極的に取り組んでいる。					＜備考＞				

		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	計
合計点	53点	配点×1	2点×2項目	1点×19項目	0点×0項目	23点
		配点×2	4点×5項目	2点×5項目	0点×0項目	30点
		計	24点	29点	0点	53点

一次評価結果	得点53点	標準点 21項目×1点 10項目×2点	S	A	B	C
	A	41点	55点以上	54点以下 52点以上	51点以下 37点以上	36点以下

特記事項	(特に評価すべき点)
	・収支状況について、利用料金収入は、計画値に対し達成率152.2% ・稼働率は、計画値に対し、展示室は達成率147.0%、会議室は達成率165.0% ・コーディネーターによる適切な搬出入スケジュール等の調整。利用者アンケート結果に基づく、CS向上策を実施 ・学術機関の出展を中心とした「たま未来連携Expo2025」を開催し、地元団体・金融機関等の協力を得ながら、中小企業を中心とした産学連携を推進。「たまサポーター制度」を開始し、「Tama Cross Hub」のサイト開設。多摩地域の産学官連携に係る情報発信を開始 ・山梨、神奈川、埼玉の国立大学へアプローチし、「たま未来連携Expo2025」への出展を実現 ・利用者要望に適切に対応。利用者満足度100%

大項目	中項目	確認項目							評価				
		項目	内容	計画	(計画値参考)	実績(R7)	達成率	確認事項 ◎:報告書 ○:実地調査	配点	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか											
		1	施設・設備に関する保守点検及び書類の管理等	設備保守点検(電気・空調・消防・建設・下水設備等) 性能検査(ストレージタンク等) 各種測定(煤煙排出物等)等 業務報告書の管理	12回／年 外 1回／年 外 2回／年 外 毎日	指定管理者募集要項 別添特記仕様書(資料5)	12回／年 外 1回／年 外 2回／年 外 毎日	100%	◎	×1		○	
		2	施設の清掃	日常清掃 定期清掃(フロアー洗浄・ワックスがけ・ガラス等) 特別清掃(照明器具・モニュメント等)等	隔日・随時 6回／年 外 1回／年 外	指定管理者募集要項 別添特記仕様書(資料5) 清掃業務仕様書	隔日・随時 6回／年 外 1回／年 外	100%	◎	×1		○	
		3	人員配置	相談員(就職支援アドバイザー等)等の配置	総合相談:6ブース ヤング:20ポスト ミドル:32ポスト 女性:5ポスト 多摩:12ポスト 女性しごと応援テラス多摩:2ポスト	年度協定	総合相談:6ブース ヤング:20ポスト ミドル:32ポスト 女性:5ポスト 多摩:12ポスト 女性しごと応援テラス多摩:2ポスト	100%	◎	×1		○	
		4	人材育成の取組	職層別研修 課題研修 実務研修	3回／年以上 4回／年以上 2回／年以上		職層別研修 9回 (新任職員研修、新任職員フォローアップ研修、社会経済事情研修、企画(改善)提案研修 他) 課題研修 6回 (接遇研修、情報セキュリティ研修、コンプライアンス推進研修、人権研修、コミュニケーション研修、メンタルヘルス研修) 実務研修 7回 (経営管理研修、法的基礎知識研修、キャリア・カウンセラー養成研修、普通救命講習、海外研修) ※財団において主催したもののみ	300% 150% 350%	◎	×1	○		
	【特記事項】												
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか											
		5	防災・防犯への配慮	消防設備保守点検等 避難訓練 施設内巡回点検	3回／年 1回／年 8回／日(月～土) 4回／日(日・祝日)	指定管理者募集要項 別添特記仕様書(資料5)設備管理・保守業務仕様書 指定管理者募集要項別紙Ⅱ4(3)	消防設備保守点検等:3回 避難訓練:1回(従来の訓練内容、避難経路及び自衛消防隊の役割を全職員及び入居機関へ周知。また、しごとセンタービルに初めて勤務した職員を対象に避難階段を実際に使用した訓練を実施。) 施設内巡回:10回／日(月～土)、4回／日(日・祝日)	100% 100% 125%	◎	×1		○	
		6	緊急時対策	緊急時連絡体制の整備 BCP等の整備	緊急時連絡体制の整備 BCP等の整備		緊急時連絡体制の整備 1～5階の各階の避難経路がわかるように、各階に、避難経路図の掲示 BCPの改訂	-	◎	×1		○	
	【特記事項】												
	法令等の遵守	法令や条例等に基づく適切な管理運営が行われているか											
		7	個人情報保護の取組	個人情報保護管理責任者の設置 情報セキュリティ研修の実施 データアクセスのID制御の実施 個人情報保管場所の施錠	規定に基づく設置 研修:1回／年 ID制御の実施 施錠	基本協定	「個人情報の保護に関する規程」「個人情報保護基本方針」に基づき、個人情報保護管理責任者及び個人情報取扱責任者を設置 情報セキュリティ・個人情報保護研修:1回 ID制御及び施錠の実施	100%	◎	×2	○		
		8	情報公開の取組	情報公開(主要事業指標、財務指標)の実施	事業報告:1回／年 財務指標:1回／年	「監理団体の経営の透明性の向上について」18総行革監第33号	事業報告の公開:1回 財務指標の公開:1回	100%	◎	×1		○	
		9	環境配慮への取組	資源リサイクルの実施 省エネルギー対策の実施	ゴミ分別の徹底 電力使用量削減の取組		ゴミ分別の徹底 送風設備、空調機器の細かな運転調整、LED照明の導入等 ※電気使用量の平成22年度比(震災発生前年) 34%減	-	◎ ○	×1		○	
		10	手続のデジタル化	貸出施設の利用手続 事業実施におけるオンライン対応	利用予約、申請手続のデジタル化 事業のオンライン対応(セミナー・面接対策・センター登録等)		利用予約、申請手続のデジタル化 事業のオンライン対応(セミナー・面接対策・センター登録等)	100%	◎	×1		○	
		11	各種法令等の遵守	研修の実施(汚職防止・人権・情報管理等) 委託事業者への法令順守の取組	3回／年 実施		情報セキュリティ・個人情報保護研修、コンプライアンス推進、人権研修:3回 委託事業者への法令順守の取組(日常指導)	100%	◎	×1		○	
		12	都への報告・連絡	実績報告書の提出 事業報告書の提出	1回／月 1回／四半期	基本協定書第17条	実績報告書の提出:1回／月 事業報告書の提出:1回／四半期	100%	◎	×1		○	
	【特記事項】 ○「7 個人情報保護の取組」について、ウィルス感染による情報漏洩対策を目的としたポスターを作成し執務室内に掲示するとともに、標的型攻撃メール訓練を実施したこと、また、情報セキュリティの悉皆研修の終了後に理解度確認テストを実施し、全問正解となるまで反復し、全職員の理解を確認したことを評価する。												
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか											
		13	収支状況	収入計画(利用料金) 支出計画	2,835千円 5,869,417千円	予算関係資料(都)歳入内訳 カック外合算 年間事業計画書	4,645千円 5,539,019千円	164% 94%	◎	×1	○		
14		適正な会計処理	会計監査人による監査の実施 帳簿、関係書類の整備 自己点検の実施	1回／年 帳簿整備 1回／年	しごと財団財務規定 第58条	会計監査人による監査の実施:1回 帳簿、関係書類の整備 自己点検の実施:1回	100%	◎	×1		○		
15		都有財産の管理	台帳の整備・更新(備品・物品・電気子メーター・水道子メーター等)	各台帳の整備・更新	施設整備及び物品 管理業務実施要領	台帳の整備・更新	—	◎	×1		○		
【特記事項】													

大項目	中項目	確認項目						評価					
		項目	内容	計画	(計画値参考)	実績(R7)	達成率	確認事項 ◎:報告書 ○:実地調査	配点	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
事業効果	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか											
		16-1	若年者の雇用就業支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙1のとおり		◎	×2		○	
		16-2	中高年の雇用就業支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙2のとおり		◎	×2		○	
		16-3	高齢者の雇用就業支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙3のとおり		◎	×2	○		
		16-4	総合相談における支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙4のとおり		◎	×2		○	
		16-5	女性の雇用就業支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙5のとおり		◎	×2		○	
		16-6	しごとセンターの多摩地域展開の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙6のとおり		◎	×2		○	
		16-7	しごとセンターの管理運営に関する事業の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙7のとおり		◎	×1		○	
		17	利用者の平等利用への取組(公平な利用者選定)	協定、実施要領等の遵守	協定、実施要領等の遵守	東京都しごとセンター提供施設等貸出要領	協定、実施要領等の遵守		○	×1		○	
		18	サービス向上に向けた取組	・関係機関情報コーナーの設置 ・休憩コーナーの設置 ・サイン表示の充実等 ・出張カウンセリング・出張セミナー ・顧客満足度調査、利用者の声コーナー等の設置等	左記と同じ	(選定時)事業計画書5(2)	・関係機関情報コーナー、特設展示コーナー(1階)の設置 ・休憩コーナー(5階)の設置 ・サイン表示の充実(1階ディスプレイでの案内表示)等 ・出張カウンセリング・出張セミナー(ヤング162回) ・顧客満足度調査の実施 ・ご利用者ご意見箱の設置及び対応の公表		◎ ○	×2	○		
		19	利用の状況	利用者数(環境の変化など外部要因を考慮) 貸出施設稼働率	新規利用者数 31,319名 貸出施設稼働率 51.6%(飯田橋) 36.4%(多摩)	過去3か年の平均 令和4～6年度実績(飯田橋) 令和4～6年度実績(多摩)	・新規利用者数35,319人 ・貸出施設稼働率(飯田橋)53.3%(多摩)32.1%	113% 103% 88%	◎	×1		○	
		20	利用促進への取組(広報、PR等)	メールマガジン・ホームページの更新、広報・PR活動等	・メールマガジン:1回/月 ・ホームページの更新:随時 ・広報、PR活動の実施	(選定時)事業計画書5(3)	・メールマガジン:1回/月 ・ホームページ・アプリの更新:随時 ・広報、PR活動の実施 ・特別区と連携した出張相談会等の実施(3回)		○	×2	○		
	【特記事項】 ○「18 サービス向上に向けた取組」について、デジタルサイネージによる職業能力開発センター広報動画の放映や、特設展示コーナーの提供及び関係機関情報コーナーの設置により東京都立中央・城北職業能力開発センターしごとセンター校をはじめとした入居機関等の広報協力を行ったことを評価する。 ○「20 利用促進への取組(広報、PR等)」について、スマートフォン向けアプリ「TOKYO就職Navi」を活用し、広範囲に向けて定期的に情報を発信した(累計ダウンロード数54,400件/令和8年3月末時点)。また、特別区と連携した出張相談会の実施により、しごとセンターの利用促進に繋がったほか、特別区の広報媒体(広報誌・Webサイト等)を通じてしごとセンターの存在を広く周知したことを評価する。												
	利用者の反応	利用者の満足を得られているか。											
		21	利用者ニーズ把握	貸出施設利用者アンケート満足度 東京しごとセンター利用者アンケート	・貸出施設利用者アンケート満足度 96.2%以上 ・東京しごとセンター利用者アンケート満足度 89.2%以上	過去3か年の平均	・貸出施設利用者アンケート満足度96.9% ・東京しごとセンター利用者アンケート満足度92.5%	101% 104%	◎	×2		○	
		22	苦情等への対応	事例検討会の実施	1回/月		・各コーナーの困難者事例検討(5回) ・ヤングコーナーの事例検討(12回) ・シニアコーナーの事例検討会(8回)	208%	◎	×1	○		
		【特記事項】 ○「22 苦情等への対応」について、心理的に不安定な利用者からの意見や苦情の増加傾向に伴い、困難者事例が増加傾向であったため、各コーナーでの事例を共有する等、事例検討会を重ねて対応した。											
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。											
		23	都の政策との連動に向けた取組	都との連携(しごとセンター運営会議等) 区市町村との連携(市町村事例検討会・区市町村会議) センター内での連携(入居機関会議)等	・しごとセンター運営会議:1回/月 ・市町村事例検討会:2回/年 ・区市町村会議:1回/年 ・入居機関会議:2回/年		・しごとセンター運営会議:1回/月 ・市町村事例検討会:2回 ・区市町村会議:1回(書面開催) ・入居機関会議:1回(書面開催)	100% 100% 100% 50%	◎	×1			○
		24	都の施策への協力	都の施策と連携した対応	随時		・「長期失業者等に向けたフォローアップ支援」事業に係る連絡調整会議等(12回)	-	◎	×2	○		
【特記事項】 ○「23 都の政策との連動に向けた取組」について、東京都立中央・城北職業能力開発センターしごとセンター校の入校式でしごとセンター利用案内と登録勧奨を行ったことを評価する。 ○「24 都の施策への協力」について、職業能力開発機関との連携強化等、東京都の雇用就業支援事業を着実に実施したことを評価する。													

特記事項	○窓口業務の運営、カウンセリングや各種セミナー、面接会等の事業を着実に実施し、東京都の雇用就業支援事業を推進したことは評価できる。 ○「都の施策への協力」について、職業能力開発機関との連携強化等、東京都の雇用就業支援事業を着実に実施したことを評価する。 ○「サービス向上に向けた取組」について、デジタルサイネージによる職業能力開発機関の広報動画の放映や、特設展示コーナーの提供及び関係機関情報コーナーの設置により入居機関等の広報協力を行ったことを評価する。 ○引き続き、雇用情勢の変化や利用者の状況、今後の都施策等の展開に十分留意し、その時々状況に合致した、より効果的な事業の実施が行われるよう、積極的な取組に努められたい。
要改善事項等	

【一次評価結果】

評点	標準点	評価基準				一次評価結果	得点	「S」・「A」 「B」・「C」
		S	A	B	C			
	41点	55点以上	52点以上 54点以下	37点以上 51点以下	36点以下		53点	

※ 評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点を標準点とする。

- ※ S：標準点の1.33倍(小数点以下切上げ)点以上
A：標準点1.25倍(小数点以下切上げ)点以上 かつ 標準点の1.33倍(小数点以下切上げ)-1点以下
B：標準点0.88倍(小数点以下切捨て)+1点以上 かつ 標準点の1.25倍(小数点以下切上げ)-1点以下
C：標準点の0.88倍(小数点以下切捨て)以下

【確認事項】

1. 財務状況

指定管理者の財務状況	公益会計基準を導入しており、公認会計士による外部監査を取り入れ、適切に経理処理を行っている。 また、財務状況についても問題ない。
------------	---

2. 特命要件の継続

特命要件の継続	特命要件が継続しているか		
	特命の前提となった施設の位置づけ	変更なし	変更あり
	東京都政策連携団体の特性と果たした役割	団体の特性が十分に発揮されている	団体の特性が十分に発揮されてない
	都との連携体制	実施	未実施
	事業の取組状況・進捗度	適切な実施状況	不適切な実施状況
	＜評価の内容＞ しごとセンターは、雇用情勢の変動や都民ニーズに応じて、機動的に事業を行う施設であり、特命の前提となった施設の位置づけに変更はない。 また、雇用就業分野における唯一の都の政策連携団体として、高齢者や障害者の就業支援のノウハウを活用しながら国や都、民間事業者等と連携した事業展開を行っており、特命要件は継続している。		

区分	規模(概ね)	内容	実績(R7)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
若年者の雇用就業支援								
若年者の雇用就業支援事業								
様々な職業情報の提供								
情報コーナーの設置		職業適性診断システムの導入、 閲覧用図書及び求人情報誌等の整備・充実 等	実施	100%		○		
就職スキルアップ支援								
就職支援アドバイザー	20ポスト	求職者の個別就職相談(カウンセリング、導入相談等)、 グループカウンセリングによる就職相談、各種セミナー等の企画、調整、実施、 ハローワーク等連携機関との連絡、調整 若者ごとホットラインの実施 等	20ポスト	100%		○		
出張型支援	120回	公的機関を活用することに対して消極的な層や無関心な層、就職活動に自信を喪失している層に向けて、しごとセンターのサービスを出張型で提供する。併せて新規登録を促し、来所を誘導する	162回	135%	○			
就活実践力養成講座	100回	就職に役立つ知識やスキルを学ぶことができる1回完結型セミナーを開催	126回	126%	○			
能力開発コース	50人	資格等を活用した就職を希望される方向けに資格取得等のための支援講座等を開催	17人	34%			○	
若年者就職力アップ事業	100人	無職又は非正規雇用者として働く若者に対し、コミュニケーション等の基礎能力や職務能力を向上させるためのプログラムを提供	106人	106%		○		
若年者早期就職支援事業	252人	非正規雇用者として働く若者に対し、短期間のグループワークと個別カウンセリングの組み合わせ及びUー35と連携したメニューを提供	249人	99%		○		
新卒学生フォローアップ事業	40人	就職活動が進まない学生に対して、仲間づくりやグループディスカッション対策のためグループワークを主体とした短期集中型のプログラムを提供	37人	93%		○		
若者と企業のマッチング支援								
合同就職面接会	4回	若年者を対象とした合同就職面接会を開催	4回	100%		○		
合同企業説明会	若年者向け合同企業説明会 10回 新卒向け合同企業説明会 6回	大企業指向等によるミスマッチ解消のため、若年者の採用に意欲的な中小企業と若年者が交流できる合同企業説明会を実施	若年者向け合同企業説明会 10回 新卒向け合同企業説明会 7回	106%		○		
中小企業見学	50回	中小企業の理解を促すため、企業に赴いて、中小企業の現場を体験できる見学会を実施	139回	278%	○			
合同企業説明会直前対策セミナー	10回	合同企業説明会を効果的に活用し、応募の促進につなげるための、直前対策セミナーを実施する。	10回	100%		○		
面接対策セミナー	13回	面接会等を通じた就職決定を支援するため、就職面接会の上手な活用方法と、模擬面接をセットにしたセミナーを実施する。	13回	100%		○		
業界職種研究ライブラリーの設置	企業研究や職種研究に特化した カウンセリング 登録企業数 1000社 業界職種勉強会 36回	都内中小企業等の事業内容や自社PR等の公開及びアドバイザーを通じた求職者への情報提供 セミナーと企業訪問をセットにした業界職種勉強会の実施	企業研究や職種研究に特化した カウンセリング 登録企業数 1037社 業界職種勉強会 36回	104%		○		
採用・育成サポートセミナー	12回	合同企業説明会等を通じた採用ノウハウを伝達するセミナーを実施する。また、早期離職防止のため、人材育成に力を入れている企業の社長等を講師に迎えセミナーを実施する。	12回	100%		○		
採用・育成に関する好事例の提供	40回	若年者の採用や人材育成に関する企業の好事例を取材し、ライブラリー登録企業に対してメールマガジンを配信する。	40回	100%		○		
若者のキャリアデザイン支援								
就職支援アドバイザーによる個別相談	1ポスト	就職活動中の求職者に対する、キャリアデザイン等に関する個別相談 採用後、入社3年以内の者に対する、職場定着やその後のキャリアデザイン等に関する個別相談	1ポスト	100%		○		
キャリアデザインセミナー	6回	就職する前に、自身の職業観や将来のキャリアデザイン、適性等について考え、業界や企業研究を十分に行うなど、就職後のミスマッチを防ぐために必要なテーマを盛り込んだセミナーを実施	6回	100%		○		
参加者交流会	6回	経営者や先輩社会人との意見交換や、同世代とグループワーク等を通して交流することで、自身のキャリアデザインを形成する一助とする	6回	100%		○		
社会人基礎プログラム	基礎編 3回 応用編 3回	中小企業に在職する概ね29歳以下の正社員のうち、入社3年以内の者に対し、社会人としての基礎力向上を支援するメニューを実施	基礎編 3回 応用編 3回	100%		○		
キャリア形成プログラム	基礎編 3回 応用編 3回 職種別セミナー 3回	中小企業に在職する概ね29歳以下の正社員のうち、入社3年以内の者に対し、キャリア形成等を支援するメニューを実施	基礎編 3回 応用編 3回 職種別セミナー 3回	100%		○		
参加者交流会	3回	経営者や先輩社会人との意見交換や同世代とのグループワーク等、交流会を実施	3回	100%		○		
育成担当者向け早期離職防止セミナー	2回	若手社員の育成担当者向けに早期離職を防止するための人材育成ノウハウ等を提供	2回	100%		○		
管理者向け早期離職防止セミナー	2回	管理者向けに早期離職を防止するための人材育成ノウハウ等を提供	2回	100%		○		
早期離職防止ガイドブック	2,000部	早期離職防止のノウハウ等をまとめたガイドブックを作成し配布	2,000部	100%		○		
就活バックアップ事業	大学等就職支援者向けセミナー 2回 企業交流会 2回 保護者向けセミナー 1回 保護者向け中小企業見学 2回	新卒者等の就職活動の間接的支援を促進するため、大学等就職支援者及び新卒者等の保護者を対象とした事業を実施	大学等就職支援者向けセミナー 2回 企業交流会 2回 保護者向けセミナー 2回 保護者向け中小企業見学 2回	114%	○			
高校生向け就業意識啓発講座	20校	都内高校に講師を派遣して、高校生の就業意識を醸成する内容の啓発講座を、学校の要望に沿った形で実施	20校	100%		○		
就活アプローチ事業	プログラム 4回 セミナー 2回	就職活動に踏み出せない若年者に対し、専門的なノウハウを有する専門機関を活用し、支援メニューを実施	プログラム 4回 セミナー 2回	100%		○		
オンライン化対応		セミナー等オンラインによる事業実施	実施	100%		○		
項目数			計 29 項目		4	24	1	
点数 (標準点 29 点)			37点以上:水準を上回る 26点から36点:水準どおり 25点以下:水準を下回る		8	24	0	32点 評価:水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%～91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)－1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R7)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
中高年の雇用就業支援								
中高年の雇用就業支援事業								
アドバイザーによる支援								
キャリアカウンセラーの配置	32ポスト	就職支援アドバイザーとしての役割を持つキャリアカウンセラーを配置 求職者に対する個別カウンセリングを実施 求人情報等の提供や職業紹介を実施	32ポスト	100%		○		
求職活動支援セミナー								
小規模セミナー	372回	「自己理解促進」、「就職対策支援」、「応募活動支援」、「自律活動支援プログラム」、「在職者向け」を開催	489回	131%	○			
大規模セミナー	6回	求人市場の現状確認や今後の求職活動の進め方などに関するセミナーを開催	6回	100%		○		
能力開発コース								
再就職基礎講座	300人	求人市場で求められている職業人としての能力を身につける短期講座を開催	837人	279%	○			
スキルアップ講座	200人	パソコン操作技術に乏しい求職者に対し、ビジネスで役立つパソコン技術を身につける講座を開催	947人	474%	○			
資格取得等支援講座	200人	資格等を活用した就職を希望される方向けに資格取得等のための支援を実施	114人	57%			○	
雇用就業情報の提供		求職活動に活用できる情報を提供	実施	100%		○		
就職氷河期世代等ミドル向け合同面接会の実施								
大規模面接会	8回	外部会場において、多様な求人企業を集め、1日のイベントとして開催	8回	100%		○		
小規模面接会	6回	しごとセンター講堂において、ミドルコーナーの基幹支援の支援フローの一環として実施	6回	100%		○		
ミドルアフターのキャリアチェンジ支援								
ジョブコーディネーターによる支援	3ポスト	就職困難層へきめ細やかなサポートを行い、キャリアチェンジを促すとともに、企業と求職者とのマッチングを実施	3ポスト	100%		○		
キャリアチェンジセミナー	180人	ミドルアフター層向けに、キャリアチェンジ、ライフプラン見直しを念頭に置いたセミナーを実施	210人	117%	○			
合同企業説明会	180人	キャリアチェンジ促進を目的とした合同企業説明会を実施	134人	74%			○	
職種理解・職場体験プログラム	60人	キャリアチェンジセミナーの受講者を対象に、企業内実習の機会を提供	236人	393%	○			
非正規就業者向けアプローチセミナー	360人	就職氷河期世代を対象に、各自のマネープラン作成、世代別の生活設計、キャリアアップ等についてのセミナーを実施	264人	73%			○	
ミドル版ワークスタート支援プログラム	45人	中高年の就職困難層を対象に、就労準備支援として、自信回復、職場に必要な基礎能力の付与及び就労体験等を組み合わせたプログラムを提供	44人	98%		○		
オンライン化対応		セミナー等オンラインによる事業実施	実施	100%		○		
非正規向け特別支援								
非正規向け求職活動支援								
非正規向け求職活動支援セミナー	6回	正社員の経験が少ない求職者を対象に、求職活動に必要な情報を提供	6回	100%		○		
非正規向けパソコン講座	スキルアップ講座 130人 資格取得等支援講座 80人	就職にあたっての必須とされているパソコンスキル等を付与する講座を開催	スキルアップ講座 153人 資格取得等支援講座 159人	118% 199%	○			
就活エクスプレス事業								
グループワーク	500人	キャリアの振り返り(「強み」の発見)や職場訪問等による中小企業理解、応募書類作成等、5日間程度のグループワークを実施	369人	74%			○	
ジョブコーディネーターによる支援	6ポスト	中小企業の採用や人材活用等に精通した者を配置し、個別の求人開拓や正社員登用型求人の活用によりマッチングを支援	6ポスト	100%		○		
合同面接会	12回	非正規雇用経験者の正社員採用に意欲的な企業を開拓し、合同面接会を開催	12回	100%		○		
短期集中コース	120人	グループワークへの継続参加が困難な者に対し、短期集中型セミナー(1日)を実施	164人	137%	○			
項目数			計 22 項目		7	11	4	
点数 (標準点 22 点)			28点以上:水準を上回る 20点から27点:水準どおり 19点以下:水準を下回る		14	11	0	25点 評価:水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%～91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ 「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R7)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
高齢者の雇用就業支援								
高齢者の雇用就業支援事業								
中小企業向け人材開発								
人材開発コースの開発等	1プロジェクト 1コース 1団体	協働関係団体から推薦された委員等で構成する人材確保共同PT推進委員会、コース開発(改善)PT委員会を設置し、人材開発コースを開発・改善 新たな協働団体の開拓及び可能性の調査を実施	1プロジェクト 1コース 1団体	100%		○		
人材開発コースの実施	20コース	中小企業向け人材開発コースの実施 コース説明会の開催、コース実施推進員の設置 人材開発コース普及啓発リーフレットの作成	20コース	100%		○		
中小企業向けエキスパート人材開発プログラム	4回	中小企業団体の協力により、中小企業に再就職を目指すために必要な基礎知識や働き方を身につけるための講習を実施 「人材情報」(修了生情報)の更新及び参加募集	4回	100%		○		
就業支援総合セミナー								
定年退職後の働き方を考えるセミナー	10回・個別相談	再就職活動のプロセスを網羅した内容に、高齢者特有の再就職状況を加味した総合的なセミナーを実施 セミナー受講後、希望者に個別相談を実施	10回・個別相談	100%		○		
シニア予備群向け出張セミナー	25回	企業等に講師を派遣し、概ね50歳から60歳代前半の従業員(シニア予備群)を対象に、退職後のキャリアビジョンや高齢期の働き方を考えるセミナーを実施することで、退職後の再就職等に向け準備を始める意識啓発やアドバイスを実施	25回	100%		○		
高齢者向け相談の実施等								
高齢者向け相談の実施		再就職等に係る高齢者からの相談に幅広く対応 価値観診断、キャリアプランニングの実施 応募書類作成における個別添削	実施	100%		○		
高齢者向け再就職活動支援セミナー等の実施								
基本セミナー	2,480人	就職活動に必要なノウハウを提供するセミナーを開催	6023人	243%	○			
実践セミナー	360人	テーマごとに実践的なセミナーを開催	299人	83%			○	
就活スタート	720人	就活を始めるに当たり、マインドチェンジやキャリアチェンジの重要性を提供	1360人	189%	○			
就活応用Ⅰ	210人	再就職経験者の体験談とグループワークを通じてイメージを具体化	288人	137%	○			
就活応用Ⅱ	150人	高齢者の求人が多い業界・職種について、企業側関係者による解説	190人	127%	○			
シニアの社会参加サポートプログラム	120人	多様な働き方について就業相談機能を活用 基本的知識を整えるためのセミナー及びグループワークを開催	176人	147%	○			
シニアのパソコンスキルアップ講座								
入門編	初心者コース5回 入門コース12回		初心者コース5回 入門コース12回	100%		○		
基礎編	ワード基礎コース12回 エクセル基礎コース20回 パワーポイントコース7回	シニアコーナー利用者のパソコンスキル向上を図り、円滑な就職活動に結びつけるため、「パソコンスキルアップ講座」を実施	ワード基礎コース12回 エクセル基礎コース19回 パワーポイントコース8回	100%		○		
応用編	ワード応用コース5回 エクセル応用コース8回		ワード応用コース6回 エクセル応用コース8回	108%		○		
65歳以上のシニア対象職場体験事業	100人	65歳以上のシニアを対象とした職場体験を実施	118人	118%	○			
情報提供								
情報提供		高齢者就業に関する情報を就業相談時に業務端末から相談者に対し提供	実施	100%		○		
業務支援		相談者の登録管理、人材開発コースの受講者管理 相談業務統計等の集計処理業務等	実施	100%		○		
生涯現役社会推進事業	1800人	国との連携により、高齢者のマインドチェンジやキャリアチェンジを促すセミナーを都内全域で実施	2515人	140%	○			
就職氷河期世代等シニア向け合同面接会	320人	年4回、シニアの合同面接会を開催し、企業と高齢者の迅速なマッチングを図る。	409人	128%	○			
はつらつ高齢者就業機会創出の支援								
情報システムの運用等								
情報提供		ハローワーク求人情報を高齢システムを通じてアクティブシニア就業支援センターに選別・配信	実施	100%		○		
業務支援		アクティブシニア就業支援センターの無料職業紹介事業に係る各種情報を高齢システムで管理 相談業務統計等の集計処理業務に蓄積データを活用	実施	100%		○		
ネットワーク		アクティブシニア就業支援センターと通信回線を接続し、高齢者就業相談業務の支援、情報の共有化、業務の効率化・高度化を実現	実施	100%		○		
自所開拓求人の充実に向けた支援	2回	アクティブシニア就業支援センターの認知度向上と求人開拓支援のため、事業案内パンフレットを作成し、広報強化を図る	1回	50%			○	昨年度の在庫利用で1回で済んだため
地域別合同就職面接会の共催	2回	アクティブシニア就業支援センターと共催し、地域の高齢者と求人事業所との合同面接会を実施	6回	300%	○			
アクティブシニア就業支援センター職員の育成	新任研修 年2回 実務研修 年6回	アクティブシニア就業支援センター職員に対して、職業相談等の基礎知識・技法を付与するための研修を実施	新任研修 年2回 実務研修 年6回	100%		○		
シニア就業支援キャラバン	960人	アクティブシニア就業支援センターと連携し、地元近隣企業への就業を目的としたセミナー、合同面接会及び就職相談を実施	1,253人	131%	○			12回開催
オンライン化対応		セミナー等オンラインによる事業実施	実施	100%		○		
		項目数	計 28 項目		10	16	2	
		点数 (標準点 28 点)	35点以上:水準を上回る 25点から34点:水準どおり 24点以下:水準を下回る		20	16	0	36点 評価:水準を上回る

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%～91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)＋1」点以上 かつ 「標準点の1.25倍(小数点以下切上)－1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R7)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
多様な働き方に対する支援								
総合相談窓口等の設置								
相談員の配置	6ブース	利用者の導入部分における総合的な相談を実施 年齢横断的サービスなどについての初期相談を実施	6ブース	100%		○		
情報コーナーの運営		パソコンでの応募書類作成や書籍閲覧などができ る情報コーナーを運営	実施	100%		○		
事業所相談		事業主を対象とした事業について相談・情報提供 求人預かり	実施	100%		○		
専門相談窓口の設置								
起業・創業への支援	週3日	起業・創業希望者への個別相談を実施	週3日	100%		○		
職業適性相談	週5日	職業適性検査を実施 職業適性に関する個別相談を実施	週5日	100%		○		
NPO・ボランティアなど多様な働き方相談	週5日	NPO・ボランティア等の多様な働き方に関する情報 を提供	週5日	100%		○		
社会保険・年金相談	週2日	生活設計の基礎となる保険・年金等に関する相談を 実施	週2日	100%		○		
メンタルケア相談	週2日	しごとセンター利用者のうち、メンタル不安等就職困 難者に対する支援等を実施	週2日	100%		○		
就業自立支援相談	週2日	心身や生活環境等の理由によって日常生活及び就 職活動に支障がある利用者等に対し、専門的見地 からの助言や支援窓口等の案内を実施	週2日	100%		○		
多様な働き方情報の収集・提供								
多様な働き方セミナー	24回 25回(区市町村分)	様々な働き方、ワークスタイルについて情報提供を行うと ともに、働くことに関わる関連知識、ノウハウについて身 につけることのできるセミナー(区市町村と連携したセミ ナーも含む)を開催	24回	100%		○		
多様な就業に関する情報の収集		各種団体のヒアリングや実態調査を実施 情報コーナー図書の整備・充実により最新の情報を収 集	実施	100%		○		
NPOなどでの就業体験	20人	NPO等での就業を希望する者などを対象に短期間 の就業体験機会を提供	9人	45%			○	
就業を支援する情報サイトの運営		求人情報など多様な就業を促進するサイトを運営	実施	100%		○		
就職件数など事業実績の把握		来所者の就業状況を把握 就職後の定着状況についての把握、分析を実施	実施	100%		○		
SNS等を活用したオンライン就職支援窓口の設置								
オンライン就職支援窓口の設置	週6日 3ポスト	専任のキャリアカウンセラーを配置し、全ての求職 者を対象に、LINE、電話、オンラインで相談できる 「オンライン就職支援窓口」を設置し、就職活動全般 についてのキャリアカウンセリングを実施	週6日 3ポスト	100%		○		
求職活動支援セミナー(オンライン配信)	6コンテンツ	雇用情勢の説明、就活のノウハウ提供、各種支援 策の紹介、しごとセンター事業紹介等にかかるセミ ナーをオンラインで配信	求職活動支援セミナー動画 (制作24本、配信65本、 視聴回数:753,584件)	400%	○			制作本数で判定
デジタルスキル習得チャレンジ支援事業	900人	しごとセンターを利用する求職者に対し、デジタル・ ビジネススキルを習得する講習を実施	1055人	117%	○			
就労困難者特別支援事業								
就労困難者特別支援事業	230人	就労困難者に対する支援窓口を設置し、キャリアア ウンセラー等によるチーム支援を構成することで、 利用者の社会的自立及び就労の準備性の向上を 目指す	240人	104%		○		
非正規・ひとり親・困難を抱える女性等向け 就業自立支援	240人	経済的困難を抱える女性等にアウトリーチでアプ ローチし、就職相談会やセミナー等を通じて、東京し ごとセンターの就労支援につなげることで、女性の 就職・正規雇用化を後押ししていく	204人	85%			○	
長期失業者等に向けたフォローアップ支援								
連絡調整会議の運営		雇用就業部、能力開発センターと連携し情報共有 の場を設定、能力開発センターとしごとセンター双 方の見学会実施	実施	100%		○		
各種支援メニューの案内		トライアル就労の提供、各種支援メニューの案内	実施	100%		○		
「TOKYO 就職 Navi」の運営		専用アプリの運営・改修、各種SNSを活用した支援 メニューの周知、各種広報媒体等を活用したPR	実施	100%		○		
オンライン就職面接支援事業								
オンライン就職面接支援事業	テレワークBOX2台設置	オンライン就職面接の模擬実施を可能とするテレ ワークBOXを飯田橋と多摩に設置し、アドバイザー によるオンライン面接対策に活用する	テレワークBOX2台設置	100%		○		
		項目数	計 23 項目		2	19	2	
		点数 (標準点 23 点)	29点以上:水準を上回る 21点から28点:水準どおり 20点以下:水準を下回る		4	19	0	23点 評価:水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%～91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)－1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R7)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
女性の雇用就業支援								
女性再就職支援窓口等の運営								
アドバイザーによる支援	5ポスト	就職支援アドバイザーとしてキャリアカウンセラーを配置し、個別カウンセリングを実施 求人情報の提供や職業紹介、仕事と家庭を両立しながら働くためのアドバイス、保育に関する相談の実施等	5ポスト	100%		○		
ミニセミナーの実施	100回	課題別・活動段階別支援のため、少人数のグループワークを中心としたミニセミナーを実施	110回	110%	○			
就職面接会等の実施	10回	書類選考を経ない面接機会確保のため、小規模の就職面接会を実施	40回	400%	○			
雇用就業情報等の提供		求職活動に活用できる情報の提供 各行政機関等の子育て支援情報や保育施設の情報、仕事と家庭の両立に関する情報の提供等	実施	100%		○		
キッズスペースの設置		子ども連れでも安心して来所できるよう、キッズスペースを設置	実施	100%		○		
啓発セミナー	4回 (レディGO！Projectプラス4回)	女性しごと応援テラスの各種事業や再就職事例紹介、面接対策等を内容とするセミナーを実施	4回	100%		○		
職場見学の実施	100人	ブランクのあいた女性や子育て中の女性のために職場見学を実施	63人	63%			○	
子育て女性向け再就職支援イベントの実施	150人	区市町村と連携した子育て女性向けの再就職支援イベントを実施	135人	90%			○	
オンライン化対応		セミナー等オンラインによる事業実施	実施	100%		○		
女性再就職支援事業								
女性再就職サポートプログラム等								
女性再就職サポートプログラムの実施								
女性再就職サポートプログラム	11回	基礎知識や業界事情、最新のスキルを身につける能力開発に加えて職場体験までを組み合わせた総合的な支援プログラムを実施	11回	100%		○		
女性再就職サポートプログラム フォローアップセミナー	3回	サポートプログラム受講修了後、未就職の受講生に対して、グループワークを中心としたセミナーなどを実施	11回	367%	○			
女性向け在宅ワークセミナー	45人	家庭の事情等により自宅で働くことを希望する女性向けに、在宅ワーク等に関する基本的な情報を提供するセミナーを実施	73人	162%	○			
レディGo！ワクワク塾	4回	働くイメージを高めるとともに、再就職への準備に必要なことを習得できる講座を実施、併せて短期インターンシップを実施	4回	100%		○		
地域密着型マッチングイベントの実施	7回	都内をブロックに分け、地域性の高いマッチングイベント(合同就職面接会・個別就業相談・セミナーを1日で実施)を各ブロックで開催	7回	100%		○		
女性キャリアアップ再就職応援プログラム	3回	女性のキャリア形成の実現に向けた就職を後押しするため、セミナーと企業交流を組み合わせたプログラムを実施	3回	100%		○		
託児室の運営等		センターに設置した託児室の運営 子育て女性向け再就職支援イベント等の実施に伴う託児については、施設借り上げにより実施	実施	100%		○		
女性しごと応援キャラバン事業	地域女性就業相談会 83回 キャリアカウンセラー 飯田橋2ポスト、多摩1ポスト 求人開拓員 飯田橋1ポスト	都内各区市町村においてキャラバン型のセミナー及び就職相談を実施、セミナー等受講後キャリアカウンセリング及び求人開拓の実施	地域女性就業相談会 83回 キャリアカウンセラー 飯田橋2ポスト、多摩1ポスト 求人開拓員 飯田橋1ポスト	100%		○		
女性再就職包括サポート事業	メンター相談 延べ600人 キャリア講座 7講座程度 アウトプットシェア会・コミュニティ 12回	育児や介護を抱えた方が、就職活動をより効率的に実施できるよう、オンラインによるメンター相談やキャリア講座等の包括的サポートを実施	メンター相談 延べ65人 キャリア講座 7講座程度 アウトプットシェア会・コミュニティ 16回	11% 100% 133%			○	3つの達成率を足して、3で割った数字(平均値)で算出(平均81%)
項目数			計 18 項目		4	11	3	
点数 (標準点 18 点)			23点以上:水準を上回る 16点から22点:水準どおり 15点以下:水準を下回る		8	11	0	19点 評価:水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%～91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R7)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
しごとセンターの多摩地域展開								
しごとセンター多摩の管理運営		しごとセンター多摩の管理運営						
しごとセンター多摩の建物維持管理								
立川駅南口 東京都・立川市合同施設の建物維持管理		立川駅南口 東京都・立川市合同施設の建物維持管理	実施	100%		○		
しごとセンター多摩事業								
総合相談サービス								
総合案内		利用者の導入部分で総合的にサービスを案内	実施	100%		○		
情報コーナーの運営		パソコンでの応募書類作成や情報検索のほか、書類閲覧も可能な情報コーナーを運営	実施	100%		○		
事業所相談		事業主向けのサービスとして、定着支援等に関する相談に応じる	実施	100%		○		
全年齢層に対する基幹サービスの提供								
キャリアカウンセリング	12ポスト	利用者の適性や就職に向けた希望条件を勘案しつつ、現実の求人市場を踏まえ、就職活動に関する幅広いサービスを提供	12ポスト	100%		○		
就業自立支援等相談	就業自立支援相談 週2回 臨床心理相談 週3回	社会福祉士、臨床心理士等の専門家を配置し、日常生活及び就職活動に支障がある就職氷河期世代等に対し、専門的見地からの助言や支援窓口等を案内	就業自立支援相談 週2回 臨床心理相談 週3回	100%		○		
就職ノウハウセミナーの実施	36回	求職者に求人市場の現状確認をさせ、今後の就職活動の進め方などを指導	77回	214%	○			
土曜就活セミナーの実施	40回	平日に時間の取れない方を主な対象に、仕事に関するテーマを設定して必要な知識を付与	42回	105%		○		
能力開発コースの実施	24回	就職にあたっての必須要件とされているパソコン操作技術に乏しい求職者に対して技術を付与	24回	100%		○		
ターゲットを絞ったサービス提供								
既卒等若年者向け就職面接会	20回	既卒等の中の特に支援が必要な方を中心に、就職面接会を開催	20回	100%		○		
定年等退職者に対する支援	3回	再就職活動のプロセスを網羅した内容に、高齢者特有の再就職状況を加味した総合的なセミナーを実施	3回	100%		○		
若者のキャリアデザイン支援								
キャリアデザインアドバイザーの設置	1ポスト	就職活動中の求職者に対する、キャリアデザイン等に関する個別相談	1ポスト	100%		○		
キャリアデザインセミナー	6回	採用後、入社3年以内の者に対する、職場定着やその後のキャリアデザイン等に関する個別相談 就職する前に、自身の職業観や将来のキャリアデザイン、適性等について考え、業界や企業研究を十分に行うなど、就職後のミスマッチを防ぐために必要なテーマを盛り込んだセミナーを実施	6回	100%		○		
参加者交流会	6回	経営者や先輩社会人との意見交換や、同世代とグループワーク等を通して交流することで、自身のキャリアデザインを形成する一助とする	6回	100%		○		
アフターフォローアドバイザーの設置	2ポスト	就職者及び企業に向けた窓口支援、巡回支援を実施 就職後間もない社員向け及び中小企業等向けに、定着支援に向けたセミナーを企画、実施	2ポスト	100%		○		
社会人基礎プログラム	2種類×4回	中小企業に在職する概ね29歳以下の正社員のうち、入社3年以内の者に対し、社会人としての基礎力向上を支援するメニューを実施	2種類×4回	100%		○		
キャリア形成プログラム	2種類×4回 職種別セミナー4回	中小企業に在職する概ね29歳以下の正社員のうち、入社3年以内の者に対し、キャリア形成等を支援するメニューを実施	2種類×4回 職種別セミナー4回	100%		○		
参加者交流会	2回	経営者や先輩社会人との意見交換や同世代とのグループワーク等、交流会を実施	2回	100%		○		
育成担当者向け早期離職防止セミナー	4回	若手社員の育成担当者向けに早期離職を防止するための人材育成ノウハウ等を提供	4回	100%		○		
管理者向け早期離職防止セミナー	4回	管理者向けに早期離職を防止するための人材育成ノウハウ等を提供	4回	100%		○		
広域多摩就職応援プログラム	10回	カウンセリング、セミナーを併せて行う面接会イベントを、多摩地域において広域的に実施	10回	100%		○		
新卒支援事業								
面接対策セミナー	5回	就職面接会の上手な活用方法(企業の回り方)と模擬面接をセットにしたセミナーを実施	5回	100%		○		
合同企業説明会	5回	新卒採用活動中の企業を集めた合同企業説明会を実施	5回	100%		○		
中小企業見学会	15回	新卒者等の中小企業の理解を促進するため、合同企業説明会に参加した企業に赴いて、中小企業の現場を体験できる見学会を実施	28回	187%	○			
大学等就職支援者向けセミナー	2回	東京しごとセンター多摩の就職支援に関するノウハウを活用し、大学のキャリアセンター職員等を対象に、新卒者等の就職支援に関するセミナーを実施	2回	100%		○		
保護者向けセミナー	1回	若年者の志望先決定に大きな影響力を持つ保護者を対象に、若年者の就職の現状や中小企業の理解を高めるセミナーを実施	1回	100%		○		
保護者向け中小企業見学会	1回	若年者の志望先決定に大きな影響力を持つ保護者が、中小企業の現状を理解できるよう、大学等と連携して中小企業の現場を体験できる見学会を実施	1回	100%		○		
多摩地域若者・中小企業交流支援事業								
講師派遣	125回	中小企業交流会に先立ち、効果的事業実施に向け、中小企業の魅力や適職探しのポイントなどについて学生に理解の場を提供	132回	106%		○		
企業研究・業界研究セミナー	300人	専門家による当日参加予定の企業・業界研究を中心としたセミナーの実施	144人	48%			○	
人事担当者向けセミナー	40社	企業人事担当者向け、自社の魅力の伝え方、人材確保の採用戦略等に関するセミナーの実施	40社	100%		○		
オリエンテーション	300人	参加者同士のコミュニケーションを図り、交流会での企業に対する質問等を考えるワークの実施	145人	48%			○	

区分		規模(概ね)	内容	実績(R7)	達成率	評価			備考
						水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
	若者・企業交流会	10回	多摩地域の学生を対象に、企業経営者等との交流会を実施	10回	100%		○		
	企業見学会・職場体験の実施	10回	参加者の希望業界及び職種に対する更なる理解促進を目的として、交流会参加企業への企業見学会・職場体験の実施	39回	390%	○			
	地域と連携した就業支援								
	就業支援事例検討会	2回	市町村の就業支援担当者向けに、就業支援における課題を検討する事例検討会を開催	2回	100%		○		
	企業向けセミナー	1回	多摩地域の企業に対して、中小企業団体等と連携して、企業の好事例の紹介、早期退職者を生み出さないような企業の雇用環境作り等を内容としたセミナーを実施	1回	100%		○		
	企業説明会	1回	多摩地域の中小企業に対し、自ら企業PR等を行う場を設け、求職者を多摩地域の中小企業へ誘導するような企業説明会を実施	1回	100%		○		
	合同就職面接会	大規模面接会 4回 地域連携型就職面接会 12回	大規模面接会及び多摩地域をブロックに分け、ブロック内自治体や経済団体等と密接に連携した面接会を実施	大規模面接会 4回 地域連携型就職面接会 12回	100%		○		
	地域セミナー	20回	多摩地域において面接対策等の求職者向けセミナーを開催	20回	100%		○		
	女性向けサービス								
	女性再就職支援窓口の運営								
	女性しごと応援テラス多摩の設置		多摩地域に、女性に対する専門の相談支援機関を設置し個別カウンセリング及びセミナーを実施するとともに、託児スペース付きで設置	実施	100%		○		
	キャリアカウンセリング	2ポスト	利用者の適性や就職に向けた希望条件を勘案しつつ、現実の求人市場を踏まえ、就職活動に関する幅広いサービスを提供	2ポスト	100%		○		
	ミニセミナー	30回	利用者の抱えている課題別・活動段階別の支援として、一方的な知識やノウハウの付与だけではなく、グループワークを通して、自らの気づきを促す	40回	133%	○			
	啓発セミナー	1回	再就職に関心のある女性を対象に啓発セミナーを実施し、女性の再就職の促進を図る	1回	100%		○		
	女性再就職支援事業								
	女性再就職サポートプログラム	女性再就職サポートプログラム6回 フォローアップセミナー3回	女性が再就職しやすい職種をコーステーマとして、基礎知識や業界事情、能力開発、企業人事担当者との意見交換の場の設置等を組み合わせた総合的な支援プログラムを実施 受講修了者への確実なフォロー体制も構築	女性再就職サポートプログラム6回 フォローアップセミナー6回	133%	○			
	子育て女性向け再就職支援イベント	1回	区市町村と連携した子育て女性向けの再就職支援イベントを実施	1回	100%		○		
	子育て応援！企業交流会	4回	育児等で家庭や地域から出にくい女性を対象に、女性の活用に積極的な多摩地域の企業との交流会を実施	4回	100%		○		
	地域密着型マッチングイベント	3回	多摩地域をブロックに分け、地域性の高いマッチングイベント(合同就職面接会・個別就業相談・セミナーを1日で実施)を各ブロックで開催	3回	100%		○		
	女性キャリアアップ再就職応援プログラム	2回	女性のキャリア形成の実現に向けた就職を後押しするため、セミナーと企業交流を組み合わせたプログラムを実施	2回	100%		○		
	託児室の運営等		託児室の運営を委託	実施	100%		○		
	オンライン化対応		セミナー等オンラインによる事業実施	実施	100%		○		
項目数				計 49 項目		5	42	2	
点数 (標準点 49 点)				62点以上:水準を上回る 44点から61点:水準どおり 43点以下:水準を下回る		10	42	0	52点 評価:水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%～91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ 「標準点の1.25倍(小数点以下切上)－1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R7)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
しごとセンターの管理運営								
提供施設等の使用の承認		提供施設(講堂、セミナー室)及び附帯設備の使用承認・貸出	(飯田橋)利用者数60,681人、稼働率53.3% (多摩)利用者数17,045人、稼働率32.1%	100%		○		
「しごとセンター業務システム」の運営	一式	「しごとセンター業務システム」の管理運営	一式	100%		○		
しごとセンターの建物維持管理		しごとセンターの建物維持管理	実施	100%		○		
項目数			計 3 項目		0	3	0	
点数 (標準点 3 点)			4点以上:水準を上回る 3点から3点:水準どおり 2点以下:水準を下回る		0	3	0	3点 評価:水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%～91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ 「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下